

平成19年11月15日

富国生命保険相互会社

生まれ変わる大阪富国生命ビル

富国生命保険相互会社（取締役社長：秋山智史／以下「富国生命」）は、大阪市北区小松原に立地する大阪富国生命ビルの建替を検討して参りましたが、10月31日に開催された大阪市都市計画審議会にて可決され、同ビルの建替計画が「都市再生特別地区」として都市計画決定される見込みとなりましたので、「新・大阪富国生命ビル」の概要につきまして、以下の通りお知らせ致します。

～社会へ貢献する「新・大阪富国生命ビル」～ <主な特徴>

大阪地下街ネットワークの中心部に憩いのアトリウム空間を設置！

～イメージコンセプトは「フコク生命（いのち）の森」

大阪地下街の安全性の向上等にも配慮！

21世紀に相応しい複合的な情報発信機能の発揮！

～大阪大学との「食」「植」をテーマとする産学連携活動支援施設の誘致

中核企業は、アサヒビール株式会社

～京都造形芸術大学による「芸術文化」「教育研究」活動の展開

キーワードは芸術を「見る」「知る」「学ぶ」

市民向け公開セミナーを開催！

～立命館学園の大阪における教育研究拠点を誘致

アジアと関西経済圏との架け橋となる人材育成を目指す！

国際的に著名な建築家ドミニク・ペロー氏の起用

～日本初！超高層ビルディングをデザイン



【開発コンセプト】

富国生命の経営理念の一つである「社会への貢献」を開発コンセプトの機軸とし、**地域・社会との調和**を図りつつ、21世紀に相応しい**情報発信機能**を有するビルと致します。

【建物計画】

所在地	大阪市北区小松原町2番4号
用途	事務所・店舗・学校・駐車場等
敷地面積	約3,900m ²
延床面積	約62,400m ²
階数	地下4階、地上28階、塔屋1階
高さ	約133m
デザイナー・アーキテクト	ドミニクペロー・アーキテクチュラル
設計・施工	清水建設株式会社
開発コンサルタント	三菱地所グループ
工期(予定)	2007年11月 解体工事着工 ~ 2010年下期 竣工

【プロジェクトの特徴】

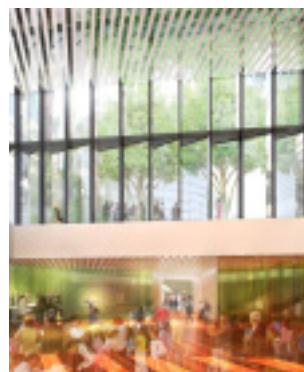
1. 高機能オフィス

- ・業務・商業機能の集積する梅田地区に、22層(6~27階) 1フロア当たり延床面積2,000m²を超える大型オフィス空間を展開、大規模テナントニーズに対応します。
- ・JR・私鉄2社・地下鉄3社が乗り入れる西日本最大のターミナルに近接する交通利便性に加え、永年大阪で親しまれていた富国生命の**西のランドマーク**の再開発プロジェクトに相応しい洗練されたデザインと最新の設備を備えます。
- ・地下2階(地下1階吹き抜け)と1階部分には、飲食店舗を中心とした商業店舗を配置し、周辺の地下街や商店街と協調した**街並みの連続性と地域の賑わいの創出**を目指します。
- ・Low-e ガラスの採用や屋上緑化など環境に配慮した計画とし、CASBEE-S クラスの取得を予定しております。

2. 歩行者動線の整備と「フコク生命(いのち)の森」

- ・大阪地下街の中心部に位置する当計画地において、地上~地下の連絡動線を強化、地下街との接続部幅員を拡大することで、60万人/日の歩行者交通の回遊性を向上させます。
- ・地下街ネットワークの中心部に不足している待ち合わせや憩いの空間として、地下街と本建物が接続する地下2階から6層吹き抜けのアトリウム空間を「**フコク生命(いのち)の森**」というイメージコンセプトで整備します。

富国生命では経営理念の一つである「社会への貢献」に基づき、所有する静岡県伊東市の緑地資産を保全・整備していく活動「フコク生命(いのち)の森」プロジェクトを実施しております。本プロジェクトにおいても、環境に配慮した計画とすると共に、その象徴としてアトリウム空間「フコク生命(いのち)の森」を整備致します。



フコク生命(いのち)の森イメージ

3. 地下街の安全対策強化

- ・ 60万人/日の歩行者交通のある地下街の安全性を向上させるため、本建物の地上部に地下街の防災センターを取り込みます。
- ・ コントロールセンターとしての安全性を確保することで、地下空間を中心とした**地域の安全性向上**に貢献してまいります。
- ・ 地下街の給排気シャフト等を新建物内に新設し、空調能力の増強等に協力することで、**地下街の快適性の向上**にも貢献してまいります。

4. 情報発信機能の導入

大規模な土地利用転換により多機能化が実現した西梅田地区、阪急百貨店建替計画をはじめ旺盛な商業需要に対応して随時開発が継続している茶屋町地区に比較して、東梅田地区は、従来からの小規模商業施設等の集積が特徴となっています。

その玄関口に位置する本計画は、このエリアに不足していた**賑わい、教育・文化・芸術**に関する新たな要素を盛り込むことで東梅田地区再整備の発端とし、将来の発展に向けた起爆剤となることを地域への貢献として企図します。

大阪大学との産学連携活動の支援施設

「食」と「植」のポテンシャルを活用した「**心身ともに健全なる生活設計と健康づくり**」をテーマとして、大阪大学先端科学イノベーションセンターおよび工学研究科フロンティア研究センター等との共同研究プロジェクトを行う企業が、その成果を社会に情報発信し、**新たなビジネス創造と地域社会貢献**を実現する場となります。少子高齢化時代にむけた新たな食の開発や暮らしの中の緑環境整備など、先端技術を利用した予防医療・補完医療に資する諸研究の成果や意義を市民向けに広く発信すると共に、参加型展示やイベント等により、最先端の研究を体感できる場を提供する予定です。

本施設活用の総合プロデュースは、**大阪大学大学院工学研究科 小林昭雄教授**を中心とする作業グループが行い、中核企業として**アサヒビール株式会社**の参画が決定しております。

富国生命と大阪大学は「健全な心と身体づくりに根ざした、和やかで豊かな社会、持続可能な社会作りに貢献可能な生活補完科学の発展」をテーマに**組織的連携協定**を締結しています。

京都造形芸術大学「大阪サテライト（仮称）」

芸術文化活動を通しての日本の復興、平和の実現を目指し、日本全体を視野に入れた教育研究活動を展開している京都造形芸術大学（京都市、学長：千住博）が、その活動の一層の充実を図る目的で梅田地区に新たな拠点を設けるもの。芸術を「**見る」「知る」「学ぶ**」をキーワードに、大阪市を中心とした広域関西圏に開かれた芸術教育の拠点となります。

「見る」：アトリウム、共用スペースへのアート作品展示。

「知る」：地域一般市民を対象とした公開セミナーの開催。

「学ぶ」：通信教育部学生対象のスクーリング授業。一般市民向けエクステンション講座(デッサン、美術史、芸術学、歴史遺産)の開講。

(仮称)立命館アカデミア@梅田

立命館学園(学校法人立命館)の教育研究を通じた人材の育成、各種学術文化講座を通じた地域社会への貢献、地域社会との連携による新たな知の創造に向けた研究を目的とする、大阪における新たな教育・研究拠点となります。

特に、近年**アジアにおけるビジネス交流が活発化している中国と大阪を中心とする関西経済圏との架け橋**となる人材の育成を目指します。

「大学院の展開」：経営大学院(経営管理研究科)では、社会人を対象にした MBA プログラム及び科目等履修制度を展開します。MOT 大学院(テクノロジー・マネジメント研究科)等の各研究科の授業も実施する予定です。

「各種講座開設」：市民対象の社会開放型「教養講座」や、中国の大学と連携したビジネス中国語講座、中国文化、最新中国ビジネス事情などの学術講座、関西社会人大学院連合・専門セミナーなどを行う予定です。さらには中国の大学との連携を正課教育レベルまで高めた、大学院連携プログラム(単位互換、教員の相互派遣、共同学位プログラム開発など)の実施を目指します。

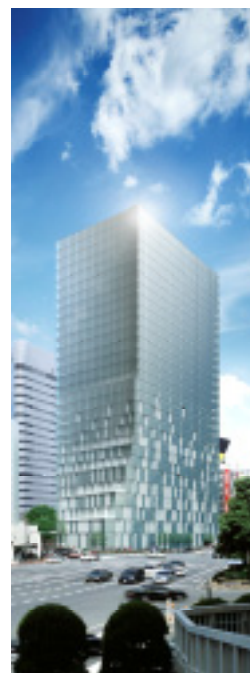
5. ランドマーク景観の創出

魅力ある都市景観を創出するために、外観等のデザインには国際的に著名な建築家 **ドミニク・ペロー氏**を起用し、東梅田地区、大阪駅周辺地区における新たなランドマークを表現します。

外観は、一体感のあるガラス面の美しさを追求しつつ、足元には繊細な切り返しの表情を付け、森の「**大樹**」が空に向かって伸びている姿を表現しています。



現ビルの外観



新ビル完成予想パース

当リリースは、日銀金融記者クラブ、大阪建設記者クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて発表しています。

尚、計画の概要は今後の状況などにより変更となる可能性があります。

以上

デザイナー・アキテクト：ドミニク・ペロー（Dominique Perrault）



1953年	フランス生まれ
1978年	パリ、第6建築大学（エコール・デ・ボザール）卒業
1981年	DOMINIQUE PERRAULT ARCHITECTURE 事務所設立
2006年	大阪大学大学院工学研究科招聘教授就任

DPA
DOMINIQUE PERRAULT ARCHITECTURE

【URL】

<http://www.perraultarchitecte.com/>

【代表作品】



インスブルック市庁舎・ホテル（オーストリア）



ベルリン・オリンピック・ヴェロドローム
&水泳競技場（ドイツ）



フランス国立図書館（フランス）



マルヌ・ラ・ヴァレ高等電子技術学校（フランス）

「DOMINIQUE PERRAULT ARCHITECTURE 提供」